

スイートピー春咲き性品種の導入による生産性向上支援

農業技術センター普及指導部

実施期間：令和4～8年

課題・目的

■地球温暖化の影響により春先の気温が上昇することから、生産の主力である冬咲き性品種では3月下旬以降の収穫量が大幅に減少しているため、高温耐性のある春咲き性品種の導入が必要である。

■そこで、春咲き性品種の栽培に必要な種子冷蔵処理技術を導入し、収穫量の増加を図る。

活動内容

■高温対策として、春咲き性品種の導入が有効であることや、導入にあたっては種子の冷蔵処理が必要なことを講習会や個別巡回で指導し、併せて県が育成した春咲き性品種「春かなピンク」の特性を周知した。

■冷蔵処理に使用する恒温機を共同利用施設に導入できるよう支援し、2か所に設置された。

生育：冷蔵処理により11月上旬に発蕾。
12月中旬から収穫を開始できた。

品質：生産者への聞き取りにより、栽培期間を通じて冬咲き性品種と比較して切花長が長い等の評価を得ることができた。



春かなピンク

今後の展開

■春咲き性品種の導入希望者が増えていることから、「春かなピンク」を含め、現地栽培での生育特性を確認し、栽培技術を指導する。

■春咲き性品種の栽培に必要な冷蔵処理期間の目安を示し、導入した恒温機の利用による冷蔵処理について引き続き指導する。